

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	6	災害対策費	67

部局名	市民部
課名	地域安全課

I：事業概要

施策事業名	災害対策
事業目的	各種防災対策を展開することにより防災体制を強化し、市民の安全・安心な暮らしを確保する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 訓練の実施、設備の維持管理、備蓄品及び資機材の整備を推進し、防災体制の強化を図る。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・実践型の防災訓練の実施 ・市民の防災減災意識の高揚を図る啓発活動（防災人材育成講座）の実施 ・防災支援の実施 （家具等転倒防止器具取付・感震ブレーカー取付補助・防災倉庫設置補助・自主防災組織立ち上げ補助・自主防災組織資機材購入補助・県主催講座受講料補助） ○防災設備管理 <ul style="list-style-type: none"> ・防災関連機器等の維持管理 ・あんしんメール等情報配信システムの維持管理 ○備蓄品管理 <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食糧や備蓄品の購入、配備 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料及び備蓄品の購入（消耗品費） 10,105千円 ・災害時緊急情報提供システム使用料（あんしんメール・電話・LINE） 3,490千円 ・家具等転倒防止器具取付事業委託費 532千円 ・Jアラート機器保守点検委託料 165千円 ・高度情報通信ネットワークUPS交換修繕費 2,847千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施、防災設備の維持管理、備蓄品及び資機材の整備などの事業を推進し、防災体制の強化を図る。 ・システムの更新及び維持管理により、適切な防災機能を確保する。 ・適切な補助事業や講座等の実施により、自助の意識啓発と地域の防災力向上を推進する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
災害対策	7,291	532	0	0	6,759	93%
防災設備管理	7,802	0	0	0	7,802	100%
備蓄品管理	14,178	4,666	0	0	9,512	67%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	29,271	5,198	0	0	24,073	82%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	11	交通安全対策費	81

部局名	市民部
課名	地域安全課

I：事業概要

施策事業名	交通防犯対策
事業目的	市民の交通安全を確保し、快適な交通環境の整備を行うとともに、誰もが安全に安心して暮らせる環境を確保する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の交通安全の確保や交通環境の整備を行い、安全で安心して暮らせる環境を確保する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 【交通】 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢ドライバーの交通事故防止のため、後付けで安全運転支援装置を購入した65歳以上の市民を対象に設置費用の一部を補助 ・犬山警察署や町会長、市民団体と連携し交通安全運動（各種キャンペーン等）を実施 ・交通安全事業実施団体へ補助金を交付し、活動を支援 ・自動車運転免許証を自主的に返納した65歳以上の市民を対象に、高齢者免許証自主返納支援事業を実施 ・交通環境向上のため交通安全啓発看板、反射鏡、道路停止線等を設置 【防犯】 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅を対象とした侵入盗への防犯対策に要した費用の一部を補助 ・特殊詐欺防止用電話機器の購入費用の一部を補助 ・犬山警察署や関係機関と連携し、自転車盗や特殊詐欺防止の各種キャンペーンを実施 ・自主防犯パトロール団体等が行う青色回転灯装備車によるパトロール等防犯活動を支援 ・市が設置する防犯カメラの計画的な設置及び更新 ・防犯事業実施団体へ補助金を交付し活動を支援 ・町内会等が防犯カメラを設置する費用を補助 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの計画的な設置及び更新 3,454千円 ・防犯対策費補助 1,000千円 ・高齢者後付安全運転支援装置設置補助 3,200千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の要望等による反射鏡設置等の交通安全対策、市による防犯カメラの設置や防犯カメラを設置する町内会等への設置費の補助等による防犯対策を進め、安全で安心な住みよいまちを目指す。 ・犬山警察署等と連携し、交通安全や防犯活動の啓発活動を実施する。 ・侵入盗への防犯対策、特殊詐欺防止用電話機器設置補助により地域の防犯力を高める。 ・高齢者後付安全運転支援装置設置費補助により、交通事故防止を図り、事故による被害の軽減を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
交通安全対策事務	7,684	1,600	0	0	6,084	79%
交通安全対策施設整備	5,476	0	0	0	5,476	100%
自転車等駐車場管理	1,247	0	0	22	1,225	98%
公共交通網整備基金積立金	1	0	0	1	0	0%
防犯推進	8,717	0	0	0	8,717	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	23,125	1,600	0	23	21,502	93%

令和2年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	11	交通安全対策費	83

部局名	市民部
課名	地域安全課

I：事業概要

施策事業名	コミュニティバス運行																		
事業目的	交通空白地に居住する交通弱者等の交通手段の確保と日常生活の支援拡充を図る。																		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全に安心して移動できるよう、運行事業者と連携し、コミュニティバスを維持継続運行する。 ・利用者の利便性向上のため、アンケート調査などを通し、ニーズを把握し、利用者増につなげていく。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年12月より、車両8台、8路線、月曜日から金曜日の平日毎日（祝日含む）へ再編を実施 ・運行状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>〔期間〕</th> <th>〔乗車人数〕（前年比）</th> <th>〔1人当りの運行負担金〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.4～H28.3</td> <td>84,091人</td> <td>640円</td> </tr> <tr> <td>H28.4～H29.3</td> <td>85,389人（1,298人増）</td> <td>632円（△8円）</td> </tr> <tr> <td>H29.4～H30.3</td> <td>84,279人（1,110人減）</td> <td>641円（+9円）</td> </tr> <tr> <td>H30.4～H31.3</td> <td>94,602人（10,323人増）</td> <td>591円（△50円）</td> </tr> <tr> <td>H31.4～R2.3</td> <td>125,000人（見込数）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・利用者の利便性向上及び新規利用者を開拓するため、6ヶ月間有効のコミュニティバスパス券を販売 → 85歳以上及び小人（小学生）6,500円、一般（中学生以上）13,000円 ・バスロケーションシステム導入による遅延や現在位置などリアルタイムの運行状況の提供 ・満員時に乗車できない利用者に対するタクシー利用による移動手段の確保 ●主な予算の内訳（R2） <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行負担金 63,433千円 ・印刷製本費（一日乗車券、回数券等） 410千円 	〔期間〕	〔乗車人数〕（前年比）	〔1人当りの運行負担金〕	H27.4～H28.3	84,091人	640円	H28.4～H29.3	85,389人（1,298人増）	632円（△8円）	H29.4～H30.3	84,279人（1,110人減）	641円（+9円）	H30.4～H31.3	94,602人（10,323人増）	591円（△50円）	H31.4～R2.3	125,000人（見込数）	
〔期間〕	〔乗車人数〕（前年比）	〔1人当りの運行負担金〕																	
H27.4～H28.3	84,091人	640円																	
H28.4～H29.3	85,389人（1,298人増）	632円（△8円）																	
H29.4～H30.3	84,279人（1,110人減）	641円（+9円）																	
H30.4～H31.3	94,602人（10,323人増）	591円（△50円）																	
H31.4～R2.3	125,000人（見込数）																		
事業の目標	・利便性の向上と、市民ニーズを捉えた運行により、利用者の満足度向上と利用者増を目指す。																		

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
コミュニティバス運行	64,758	0	0	2,860	61,898	96%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	64,758	0	0	2,860	61,898	96%